

# 平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立田無工業高等学校

全日制課程

## 1. 計画の概要

工業教育を旨とする本校と小・中学校との連携を推進することによって、本校生徒と小・中学校の児童・生徒との「ものづくり」を通じた交流の中で、他者を思いやる心と自らを大切にすることを育成し、「豊かな心」をはぐくむとともに、あわせて「ものづくりの楽しさ」を広く児童生徒に伝える。

また、生徒の地域活動への参加を通して本校の有意な地域貢献活動をさらに推進する。

連携校 小学校 調布市立滝坂小学校、西東京市立柳沢小学校、西東京市立保谷第2小学校  
西東京市立上向台小学校、西東京市立向台小学校ほか  
中学校 西東京市立ひばりヶ丘中学校、西東京市立保谷中学校、  
久留米市立久留米中学校  
国分寺市立第4中学校、国分寺市立第5中学校、  
三鷹市立第2中学校、三鷹市立第4中学校、  
三鷹市立第7中学校、東村山市立第4中学校  
東村山市立第5中学校、武蔵村山市立第5中学校ほか



テーブルづくりの様子

## 2. 実施内容

### ① 生徒の「ものづくり技術」を生かした小学校との連携

調布市立滝坂小学校では、本校生徒と教員が材木店の支援を受け、児童・生徒に手ほだきをしながら、食育教室のランチテーブル7脚、いす42脚を製作した。児童生徒が楽しそうに取り組む様子が新聞にも取り上げられた。

西東京市立上向台小学校では、校舎改築に伴って桜の古木を伐採したため、この古木を使った記念ベンチを児童生徒と本校生徒が共同で製作した。

西東京市立保谷第2小学校では、建築科の3年生が「課題研究」の授業の取組として、小学校のエントランスの設計から施工までを担い、放課後の部活動生徒も手伝って、インターロッキング工事を完成させた。

### ② ものづくり体験を通じた「出前・受け入れ授業」による中学校連携

中学2年生を本校に受け入れての「ものづくり体験授業」を中学校2校、訪問授業として、工業高校の特徴を生かした“ものづくり”にかかわる授業を8校で実施した。これらのほか、夢の架け橋推進事業の趣旨を生かした取組を幅広く実践した。



## 3. 成果と課題等

① 小学校との連携で、食育テーブル製作では本校生徒が直接小学生を指導しながら完成させ、小学生と高校生の和やかで楽しそうな光景が随所に見られた。また、桜の古木を使った記念ベンチ製作では、宮大工のプロの指導を得て本校生徒と児童が楽しそうに製作に取り組んでいた。さらに、児童が毎日出入りするエントランスのインターロッキング舗装では児童生徒達から感謝の言葉と大きな拍手をもらった。

② 中学生には、進路選択を考える上で貴重な体験の機会を提供することができ、今後も、今まで以上に、このような機会を掘り起こし、多くの中学生に“ものづくり”の楽しさを広めていきたい。



小学校のエントランス工事